

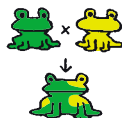
外来生物法とは？

正式名称を「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」といい、特定の外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害を防止するための法律です。特定外来生物に指定されると、飼育・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入等が原則として禁止され、違反した場合は罰金や懲役が科されます。

外来生物が引き起こす3つの悪影響

1. 日本固有の生態系への影響

- 在来生物（もともとその地域にいる生物）を食べる
- 近縁の在来生物と交雑して雑種をつくる
- 在来生物の生育環境を奪ってしまったり、餌の奪い合いをする



2. 人の生命・身体への影響

- 毒をもっている人をかんだり刺したりする



3. 農林水産業への影響

- 農林水産物を食べる畑を踏み荒らす



特定外来生物は、飼育・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入・野外に放つことなどが原則として禁止されています

※これらの項目に違反した場合、最高で個人の場合3年以下の懲役もしくは300万円以下の罰金、法人の場合1億円以下の罰金が科されます。



外来生物被害予防3原則

1. 入れない

悪影響を及ぼすかもしれない外来生物をむやみに日本に**入れない**

2. 捨てない

飼っている外来生物を**捨てない**

3. 拡げない

野外にすでにいる外来生物は他地域に**拡げない**

外来生物自身が悪いのか？

外来生物は、本来の生息地から、人間の活動に伴って持ち込まれたものです。本来の生息地ではごく普通の生きものとして生活していたものが、導入された場所の条件により、大きな影響を引き起こしてしまったり過ぎません。人間が日本に持ち込んだことにより、人間にとっても外来生物にとっても悪い結果を生んでしまっているのです。

みなさんは、
外来生物であるウチダザリガニについて、
どう思いますか？

環境省 北海道地方環境事務所 野生生物課

〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西2丁目

札幌第1合同庁舎3階

TEL:011-299-1954

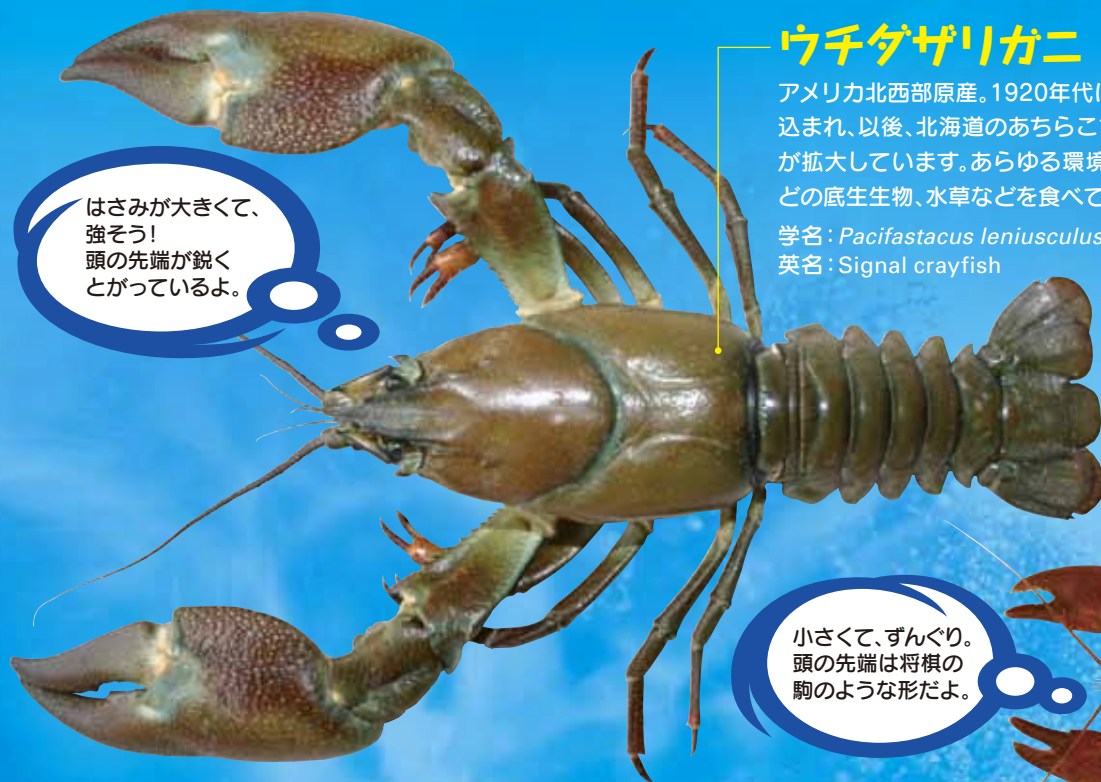
URL:<http://hokkaido.env.go.jp/>

環境に配慮し、古紙配合率100%の再生紙及び大豆インキを使用しています。

特定外来生物 ウチダザリガニ



環境省 北海道地方環境事務所



はさみが大きくて、
強そう！
頭の先端が鋭く
とがっているよ。

ウチダザリガニ

アメリカ北西部原産。1920年代に食糧難解決策として摩周湖に持ち込まれ、以後、北海道のあちこちの河川や湖沼、東北などに生息が拡大しています。あらゆる環境に適応し、魚類、エビや水生昆虫などの底生生物、水草などを食べて体長15cm以上に成長します。

学名: *Pacifastacus leniusculus*
英名: Signal crayfish

ニホンザリガニ

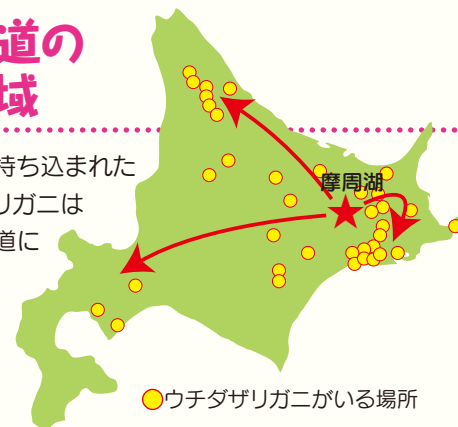
日本固有のザリガニで、北海道、東北の一部の山や森の中を流れる冷たくて水のキレイな川に住んでいます。落ち葉等を食べて体長5~7cmに成長します。ウチダザリガニに比べて小さく、ずんぐりしています。

小さくて、ずんぐり。
頭の先端は将棋の
駒のような形だよ。

学名: *Cambaroides japonicus*
英名: Japanese crayfish

北海道の分布域

摩周湖に持ち込まれたウチダザリガニは、今では全道に広がっています。



●ウチダザリガニがいる場所

詳しくは裏面へ！

このように、生態系などに影響を与えてしまうウチダザリガニは、「特定外来生物」に指定され、生きたまま運んだり、飼ったりすることが法律で規制されています。

もし、ウチダザリガニを見つけたら・・・

無理に捕獲しようとはせずに、自然保護官事務所等に情報をお寄せください。

ウチダザリガニが生態系に与える影響

ウチダザリガニは、湖や川の水草や貝などを食べてしまうので、小魚やエビの住みかやタマゴを産む場所が奪われてしまったり、もともといた魚が減ったりしてしまいます。もしこのままウチダザリガニが増えてしまうと、貝や水草が減り、魚やエビなどほかの生き物は湖や川で暮らすことが難しくなってしまいますし、ウチダザリガニに食べられることで、魚の数も減ってしまいます。魚の数がへると、魚を食べて生活している鳥も困ってしまいます。また、外来生物であるウチダザリガニは、他のザリガニに伝染する病気を持っているため、日本固有の種であるニホンザリガニへの影響も心配されています。その他にも、私たちが予測できないような影響が出ないとも限りません。

今までの
湖や川



ウチダザリガニが
侵入すると・・・



最後は
ウチダザリガニ
だらけ・・・



長い期間をかけて微妙なバランスのもとで成立してきた本来の生態系は、ウチダザリガニなどの外来生物が侵入してくると、このようにバランスを崩してしまいます。

現在北海道各地の湖や川では、ダイバーが潜ってつかまえたり、カゴ

わなを仕掛けてつかまえたりしており、年間数万匹が捕獲されています。また、ウチダザリガニから水草などを守る方法などの調査研究や地元の子どもたちへの環境学習なども行われています。



本来の生態系を守るため、様々な場所で捕獲活動を行っているんだ！



こんなにたくさん
いるんだね！



いろんな人に、問題を知ってもらうことも大事だね。

